

第1学年 題材名 「いろいろ食べよう」(学校給食と望ましい食習慣の形成)

1. 題材について

実態調査では、全員が給食時間を楽しいと感じていた。その理由は、「友達とおしゃべりしながら会食することが楽しい」、「給食がおいしい」だった。食べ物の好き嫌いで見ると、偏食傾向のある子も見られる。しかし、ほとんどの子は嫌いなものも食べようと努力していて、ほんのわずかしが口にできない子は少数である。好きな献立が出た時は、食缶はいつも空っぽになり、ほとんど残量がないクラスである。しかし、体験が乏しい児童が多く、気力が出ない時などは、食べ慣れていない煮物などは、驚くほどの残量になることもある。今回の事前調査により、自分の給食摂取量を捉えることができ、週末の保護者からの一言が励みになり、食事の大切さを考える、よい機会になったと思う。

日常の給食指導では、食事に対する関心を高めるため、食前のあいさつ時に食器の配置を整えたり、日直が「献立名」を知らせたりする活動を行っている。給食委員会児童による校内放送、今日のメニュー紹介やクイズにも一生懸命に聞き入って答えている。また、11月の生活のめあて『感謝の気持ちを表そう』の話し合いでは、第一声に「給食を作ってくれてありがとう。」の声が上がった。

入学当初より確実に食欲は増してきて、いろいろ食べられるようになってきているが、意欲的に「いろいろ食べよう」とするところまでには、至っていない。そこで、「いろいろ食べる」ことの大切さを知り、考えて食べる子に育ててほしいと願って本題材を設定した。

2. 評価規準

活動への関心・意欲、問題の気づき	集団の一員としての思考・判断	自主的・実践的な活動・態度
<ul style="list-style-type: none"> 学級や学校の生活上の諸問題にかかわって、自己の課題を見出そうとしている。 日常生活や学習に自ら適応しようとするとともに、健康で安全な自己のよりよい生活を目指そうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人及び集団の一員として必要とされる資質・能力、健全な生活を送ることの大切さなどについて理解し、自己のめあてを立てるなど、望ましい在り方などについて考え、判断している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分自身の課題について、設定した具体的なめあてに基づきながら、自主的に解決を図ったり、望ましい行動を実践したりする。

3. 活動の実際

(1) 事前の活動

月 日	活動の場	活動	評価()と支援()	資料
11月17日 から2週間	給食後	<ul style="list-style-type: none"> 給食の摂取調査の印付けと一言感想を書く。 	自分の食事量を捉える事ができる。 しるしのつけ方を知らせる。	<ul style="list-style-type: none"> 給食配り方表
11月19日	朝の会	<ul style="list-style-type: none"> 食べ物の好き嫌いについてのアンケートに記入する。 	好きな食べ物や嫌いな食べ物を書こうとしている。 給食カードのメニューなどを参考にするように助言する	<ul style="list-style-type: none"> アンケート

(2) 本時の活動

ねらい

- ・いろいろな食べることの大切さを知り、進んで食べようとする。

展開

	活動と内容	評価()と支援()	資料
導入	<p>1. 食べ物の好き嫌いアンケートの結果を見て気が付いたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嫌いな食べ物は野菜が多い。 ・同じ食べ物でも好きな人ときらいな人がいる。 	<p>嫌いな食べ物がある人がいることに着目させる。</p> <p>嫌いな食べ物が、みんなの共通の課題であることを知らせ、興味をもって学習できるようにする。</p> <p>(活動への関心・意欲、問題への気付き)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物に対するアンケートの結果
展開	<p>2. 「三匹のこぶた」の紙芝居を見て、気が付いたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かけっこの様子がどうだったかを確認し、どうしてそうなったかを考える。 ・自分の食事の様子を振り返る。 <p>3. いろいろな食べることの大切さについての話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな食品にはそれぞれの働きがあることを知り、いろいろな食べることの大切さがわかる。 	<p>「ブー」「フー」「ウー」のそれぞれの食事の違いに気付くようにする</p> <p>食べ物との関係について考えている。</p> <p>(集団の一員としての思考・判断)</p> <p>いろいろな食材の働きがわかり、嫌いな食べ物にも、大切な働きがあることに、気付くようにする。</p> <p>今日の献立からバランスよく食べることの大切さが分かるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・紙芝居 ・パネル ・食品カード
終末	<p>4. 明日の献立に何が入っているかを確認して、いろいろな食べるために、がんばろうとすることをめあてカードに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表することでこれからがんばっていこうとする意欲を持つ。 	<p>献立と食材を示す。</p> <p>一つでも目標が持てるように励ます。</p> <p>進んで食べようとする意欲をもつ。</p> <p>(自主的・実践的な活動・態度)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント「めあてカード」

アレルギーのある児童には、配慮する。

(3) 事後の活動

活動の場	活動	評価()と支援()	資料
給食後	<ul style="list-style-type: none"> ・どれくらい食べたかをめあてカードに記入する。 	<p>自分のめあてに向かって努力しようとしている。</p> <p>少しでも努力したことを賞賛し励ます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「めあてカード」

6、資料

すきな食べ物ベスト3

- ・フルーツポンチ (10人)
- ・れいとうみかん (7人)
- ・ポークカレー(4人)

きれいな食べ物ワースト3

- ・ピーマン (9人)
- ・セロリ (6人)
- ・カボチャ (3人)
- ・コーンソティ (3人)

嫌いなものが給食に出たら

全部食べる (18人)

少し食べる (8人)

全然食べない(2人)

入学してからの食事についての気付き

- ・早く食べるようになった。(13人)
- ・よくかむようになった。(6人)
- ・たくさん食べるようになった。
- ・おいしく食べるようになった。
- ・嫌いなもの(たけのこ、セロリ、トマトを少しだけ、ミカン、ブロッコリー)が食べられるようになった。(5人)

感想

- ・牛乳のこと (6人)
残すけど美味しい。たまに飲めない。いっぱい飲めた。
ずっと飲めた。美味しい。飲めるようになった。
- ・全部美味しい、毎日美味しい、全部食べた。(9人)
- ・残した。(3人) ・サンマ、豚汁が食べられるようになった。